



めあて

関数について理解しよう。



教科書 P.107 を読み、下の をうめなさい。

☆ いろいろな値をとる文字を **変数** という。

学習のポイント1

y は x の関数であるとは

2つの変数 x, y があり、変数 x の値を決めると、それにともなう変数 y の値もたまたま決まる。

とき、 y は x の関数であるという。

☆ 変数のとりうる値の範囲を、その変数の **変域** といい、不等号を使って表す。

(例) 変数 x が次のような範囲の値をとるとき、 x の変域を不等号を使って表しなさい。

(1) 0 以上 10 以下 (2) 4 未満 (3) 0 より大きく 5 以下

(解答)

(1) $0 \leq x \leq 10$ (2) $x < 4$ (3) $0 < x \leq 5$

ちょっと確認



$x > a$	x は a より大きい
$x \geq a$	x は a 以上
$x < a$	x は a より小さい (x は a 未満)
$x \leq a$	x は a 以下

学習のポイント2

ともなうて変わる2つの数量の間に、関数の関係があるかどうか調べてみよう。



はじめに、教科書 P.108 の例2を読みましよう。

次に、教科書 P.109 問6をやってみましよう。

教科書 P.109

問6

(解答) ㉗, ㉘, ㉙, ㉚

(解説)

㉘ 同級生は同じ歳であっても、身長はそれぞれ異なる。年齢を決めても身長は1つに決まらないから、関数ではない。

㉗ と ㉙ は次のように式を使って x と y の関係を表すことができる。

㉗ $y = \pi x^2$

㉙ $y = \frac{20}{x}$